



2021年4月2日

各 位

会社名 株式会社 平和堂
 代表者名 代表取締役社長執行役員 平松 正嗣
 コード番号 8276 (東証 第一部)
 問合せ先 財務部長 谷川 善弘
 T E L 0749-23-3111 (代表)
 U R L <http://www.heiwado.jp/>

2021年2月期 通期業績予想値と実績値との差異
 及び剰余金の配当に関するお知らせ

2020年9月28日に公表いたしました2021年2月期の業績予想と、本日公表の実績値において差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2021年2月20日を基準日とする配当を行うことを決議しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2021年2月期通期業績予想値と実績値との差異について

(1) 2021年2月期通期連結業績予想数値と実績値の差異 (2020年2月21日～2021年2月20日)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	434,000	12,400	13,500	6,600	125.84
今回実績値(B)	439,326	14,037	15,053	9,724	185.41
増減額(B-A)	5,326	1,637	1,553	3,124	—
増減率(%)	1.2	13.2	11.5	47.3	—
(ご参考)前期実績	433,641	10,463	11,380	6,101	116.32

(2) 2021年2月期通期個別業績予想数値と実績値の差異 (2020年2月21日～2021年2月20日)

	営業収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	386,000	13,900	8,300	158.25
今回実績値(B)	389,765	15,071	9,486	180.87
増減額(B-A)	3,765	1,171	1,186	—
増減率(%)	1.0	8.4	14.3	—
(ご参考)前期実績	374,841	10,909	8,216	156.65

(3) 業績予想と実績値の差異の理由

2020年9月28日に公表した通期での連結業績予想につきましては、中国百貨店事業及び国内飲食事業が新型コロナウイルス感染症拡大の影響を大きく受けることを予想して算出しておりました。

しかしながら、その後の中国国内での感染症の収束の兆しにより業績が急回復したこと、国内においては「Go To Eat」などの消費刺激策や主力の小売事業の「巣ごもり消費」により、営業収益、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益全て増加いたしました。

また、個別業績予想につきましては、上記「巣ごもり消費」の影響、販売促進の見直しや生産性改善による人件費抑制等により、営業収益、経常利益、当期純利益全て増加いたしました。

2. 剰余金の配当について

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年4月2日公表)	前期実績 (2020年2月期)
基準日	2021年2月20日	同左	2020年2月20日
1株当たり 配当金	21円00銭	18円00銭	18円00銭
配当総額	1,101百万円	—	944百万円
効力発生日	2021年5月14日	—	2020年5月15日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 理由

当社は、株主に対する利益還元につきましては、経営の最重要課題のひとつとして位置付けており、安定配当の継続を基本方針としております。あわせて、財務体質の強化と業容の拡大に備え、また店舗の新設及び改装等の設備投資や有利子負債の圧縮等に活用するための内部留保の充実も勘案して決定する方針であります。

つきましては、今後の経営環境等も勘案し、当期末の剰余金の配当を1株当たり3円増配して21円とし、中間配当金17円とあわせて年間配当金を38円にすることを決議いたしました。

なお、本件につきましては、2021年5月13日開催予定の第64回定時株主総会に付議し、承認を経て正式決定される予定であります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績	17円00銭	21円00銭	38円00銭
前期実績 (2020年2月期)	17円00銭	18円00銭	35円00銭

以 上